



オーダーメイド研修

男性育児休業取得促進に向けた
「仕事と育児の両立支援セミナー」のご紹介

～男性の育児休業取得、進んでいますか?～

2023 年 3 月期より、「男性育児休業取得率」は、「女性管理職比率」、「男女間賃金格差」とともに有価証券報告書への記載が義務づけられ、企業・団体で男性育児休業取得促進に向けての取組みが行われています。

「男性育児休業取得率」は男性の育児参加に対し、企業側の理解があるか、育児休業を取得しやすい職場環境であるかをうかがい知ることのできる数値です。また、男性の育児参加が女性活躍を推進する側面もあり、多様性の進展度をはかる指標ともいえます。財団へのオーダーメイド研修のご依頼も男性育児休業取得を目的とした「仕事と育児の両立支援セミナー」が増えています。一例を紹介します。

研修タイトル	仕事と育児の両立支援セミナー「育児は仕事の役に立つ」
対象者	全社員、メインターゲットは子育て中の社員(とくに男性)、およびプレパパ・プレママ、周囲で支える方、上司など受講を希望する方
ねらい	育児との両立がキャリア形成上や組織にとってマイナスではなく、全社員が両立の意義や男性の育児参加の効果を理解し、自分らしくいきいきと働くことができる職場環境を目指す意識を持つ
-子育て世代の社員	仕事へのモチベーションを維持しながら育児との両立を実現するためのマインドセット
-職場において	お互い様の風土、および誰もが働きやすい環境を整備するための改善意識の醸成

カリキュラム例:

内 容	
1. 男性の育休を取り巻く環境	育休取得率の推移、男性が育休をとれない理由、パタニティハラスメント、育児・介護休業法改正について
2. 育児で高まる仕事力	男性の育児参加意識の変化、政府や企業が男性の育児を推進する理由
3. 女性活躍推進	女性活躍推進の鍵となる「男性の意識改革」、好意的差別の影響
4. 両立の鍵はタイムマネジメント	ワーキング・マザー&ファザーに学ぶ仕事術、育児中の部下への声掛けなどマネジメント
5. 働き方の習慣を変えよう	習慣化がうまくいくポイント、コロナ禍で変わった働き方

男性育休取得の促進には、男性社員のみならず、上司や周囲の方々が男性育児休業の効果を理解し、両立を支援できる職場環境づくりが必要です。両立支援施策として、セミナーをお役立てください。

※詳細・お申込み

<https://www.jiwe.or.jp/seminar/order>

公開セミナー

キャンパス編

ハラスメント相談担当者セミナー

開催日 2024年8月7日(水) 13:30 ~ 17:00

開催形式 オンライン(zoom)

大学や短大等のキャンパスで発生するハラスメント事案に特化した相談担当者向けプログラムです。

21 世紀職業財団では、2019 年に「キャンパスにおけるハラスメント防止ハンドブック」を発行し、大学・短大などで発生するハラスメントの防止に向けた研修プログラムなどもご提供してきておりますが、残念ながら依然としてキャンパスにおけるハラスメント問題は発生し続けています。

ハラスメントを受けた被害者や、そのような事象を見たり聞いたりした人が勇気をもって上げた声をしっかりと受け止めて、現場で起きていることを把握することが大切であり、各学校に設置されているハラスメント相談窓口の役割は非常に重要です。

一般的な企業等とは異なる、キャンパス特有の組織風土に基づく課題について取り上げ、また、参加者同士の情報交換の時間も設けますので、キャンパスのハラスメント相談担当者のさらなるスキルアップとモチベーションアップにつなげていただく機会として、ぜひともお役立てください。

◆このセミナーの特徴

- 高度に専門化され、相互干渉しにくい大学・短大等キャンパス特有の課題を掘り下げます
- オンライン上で3人のグループに分かれ、ロールプレイを体験しながら学んでいただきます。演習はすべてキャンパス事例で実施します
- プログラムの最初と最後に、参加者同士の情報交換の時間を設けます

※ハラスメント相談担当者向けのプログラムです。学校としての防止対策に関する内容は含みません。

◆主なプログラム

- キャンパスにおけるハラスメント
人間関係の特殊性、閉鎖的な環境、行為者からのファイトバック など
- 相談対応の心構えとポイント
セクハラ被害者の心理 など
- ロールプレイ&振り返り
セクハラ・アカハラの相談対応、行為者へのヒアリング



※詳細・お申込み

<https://www.jiwe.or.jp/seminar/open/harassment-campus-ol>

編集後記

今号から本誌『ダイバーシティ21』のデザインをリニューアルいたしましたが、いかがでしたでしょうか。

育児介護休業法の改正や次世代育成支援対策推進法の延長等が決定し、柔軟な働き方への支援がますます求められています。本誌でも最新情報を盛り込みながら、よりよい誌面づくりをめざしていきたいと思っておりますので、引き続きご愛読くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。③

ダイバーシティ21

DIVERSITY21 vol. 057

2024年6月25日発行

編集・発行

公益財団法人 21世紀職業財団

〒113-0033

東京都文京区本郷1-33-13 春日町ビル3階

<https://www.jiwe.or.jp>